

パオちゃん's EYE

2021年12月1日 発行 No.57

カルスト台地の植物

2021年12月11日に、スライド会「旅先の自然と植物たち1～トムラウシ山、三ッ峠山、四国カルスト～」があり、その取材のため各地を巡りました。高知県と愛媛県にまたがる四国カルストは、岡山県北西部に広がる石灰岩地の植物との関連もあり、訪問先を選びました。さらに四国カルストとならび日本の3大カルストと称される福岡県の平尾台、山口県の秋吉台も気になって出かけてきました。

羊の群れのように白い石灰岩が草原に点在する台地には、石灰岩地にだけ、あるいは石灰岩地により多く分布する植物が普通種に混じって生えています。石灰岩地に特徴的な植物の多くは草原生か岩上生で、3大カルストでは定期的に山焼きが行われることによって広い面積にわたり草原が維持されています。岡山県の石灰岩台地は台地上に集落や耕作地があるのが特徴で、大規模な山焼きをすることはできません。しかし、畑の肥料として使うため、また畑の雑草の生育を抑えるため、さらにかつては牛のえさとしても利用するため、台地上で草刈りや林内の落ち葉かきが行われてきた歴史があり、草原が維持されています。

四国カルストの台地上には、岡山県の石灰岩地と共通するヒメユリ(写真)、ヒメヒゴタイ、ヒナノキンチャク、ツクシクサボタン、イワシデ、イワツクバネウツギ、イブキシモツケなどがあり、宝探し気分で高原を歩くことができました。

狩山俊悟(植物担当)



写真. 四国カルスト(左)とヒメユリ(右).

パオちゃんズアイに関するお問い合わせは

倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央 2-6-1

電話:(086)425-6037 FAX:(086)425-6038

E-mail:musnat@city.kurashiki.okayama.jp

博物館ホームページには
いろんな情報がいっぱい♪
「倉敷市立自然史博物館」で
検索してみよう! パオより

